

公開実用 昭和63-169199

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-169199

⑤ Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和63年(1988)11月2日

A 63 H 33/22

6935-2C

33/42

6935-2C

// A 63 H 33/30

6935-2C

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 色彩変化玩具

⑯ 実 願 昭62-62456

⑰ 出 願 昭62(1987)4月24日

⑱ 考 案 者 早 福 忠 久

栃木県下都賀郡壬生町おもちゃのまち3丁目7番2号 株式会社バンダイ栃木工場内

⑲ 出 願 人 株式会社 バンダイ

東京都台東区駒形2丁目5番4号

⑳ 代 理 人 弁理士 高田 修治

明 細 書

1. 考案の名称

色彩変化玩具

2. 実用新案登録請求の範囲

加熱調理される食品等の形をした玩具體を形成するとともに、同玩具體には紫外線の照射によって変色するフォトクロミック化合物を含む変色層を形成してなる色彩変化玩具。

3. 考案の詳細な説明

「産業上の利用分野」

本考案はままごと遊び等に用いられる食物玩具等の玩具體に関し、とくに加熱調理による色の変化に模して、玩具體にたいしてレンジ玩具等によって紫外線を照射すると、同玩具體が所要の色に変色する変色層を形成してなるものである。

「従来技術」

従来のままごと遊びに用いられる食品等の形をした玩具體は、例えば合成樹脂の成形により、魚や肉や野菜の形に形成してなり、しかも夫々の色は調理に無関係な色彩にしていた。

公開実用 昭和63-169199

「考案が解決しようとする問題点」

しかしながら上記従来型の玩具体によると、夫々調理に無関係な色彩にしているので、例えば魚や肉の形をした玩具体は加熱等の調理遊びを行なう場合に、玩具体は焼き色に変ることなく調理後も同じ色となっており、遊びといえども不自然な感じをうける等の欠点を有していた。

本考案は上記従来型の欠点を改善するもので、紫外線の照射によって変色するフォトクロミック化合物を利用して、紫外線を出す様にした電子レンジ等の玩具を用いて調理遊びを行なう際に、玩具体の色が変わる様にした色彩変化玩具を提供するものである。

「問題点を解決するための手段」

本考案は上記従来型の欠点を除去するものであって、加熱調理される食品等の形をした玩具体を形成するとともに、同玩具体には紫外線の照射によって変色するフォトクロミック化合物を含む変色層を形成してなるものである。

「作用」

上記の構成において、加熱調理される食品として、例えば肉や魚の形をした玩具体を形成するとともに同玩具体の表面には紫外線の照射によって変色するフォトクロミック化合物を含む変色層を形成することにより、その変色層の色変化を利用して、上記の様に紫外線を出す様にした電子レンジ玩具等によって、同玩具体を調理したあとには玩具体の変色層が焼き焦げの色に変色する様に構成することができる。

「実施例」

以下図に示す一実施例について本考案を説明すると、1は色彩変化玩具であって、同色彩変化玩具1は、例えば合成樹脂の成形により、魚の形をした玩具体11、ハンバーグの形をした玩具体12、クラタンの形をした玩具体13、カップケーキの形をした玩具体14を形成し、これら玩具体11、12、13、14等の外表面には夫々上記紫外線の照射によって変色するフォトクロミック化合物を含む塗料等によって夫々調理前の所要の色に塗装もしくはコーティング等によって変色層を形成している。

公開実用 昭和63—169199

なお上記変色層は玩具体11の成形時に一体的に形成してもよい。

2はオープンレンジ等の形をした調理器玩具であって、同調理器玩具2には前面に開閉自在な扉21、その側部には調理タイマ22、調理スイッチ23、調理カード24の差込み口25等が形成されている。また同調理器玩具2内には上記タイマ22と調理スイッチ23に連なり紫外線を出すランプ等を装設している。

以上の様な構成により、調理カード24に記載された調理時間にタイマ22をセットして扉21を開け、例えば上記魚の形をした玩具体11を内部に収納して扉21を閉じ、調理スイッチ23を押圧すると、上記内部のランプが点灯する。このランプの点灯によって上記玩具体11には紫外線が照射される。

つぎに上記タイマ22にセットされた時間が経過すると、例えばこれに連係したベル等により“チン”というような報知音を発声させるとともに、上記ランプは消灯する。この間に上記ランプの紫外線に照射された玩具体11の外表面の変色層が予

め設定された色に変色し、例えばこの場合、魚の焼き焦げの色に相当する色調に変化させることができる。

「考案の効果」

以上の様に加熱調理される食品等の形をした玩具体を形成するとともに、同玩具体には紫外線の照射によって変色するフォトクロミック化合物を含む変色層を形成することによって、上記調理器玩具に設けたランプ等により調理遊びを通して紫外線を照射すると、食品の調理前の色から調理後の色に相当する色調に変色させることができ、さらに、例えば上記調理器玩具の場合にはタイマセットに基づく紫外線の照射時間によって、食品の焼き焦げの色を変えることができる。これによって上記の様な加熱調理を伴うままごと遊びに、本物の様な感じをもたせることができ、ままごと遊びの興味を広げることができる。

4. 図面の簡単な説明

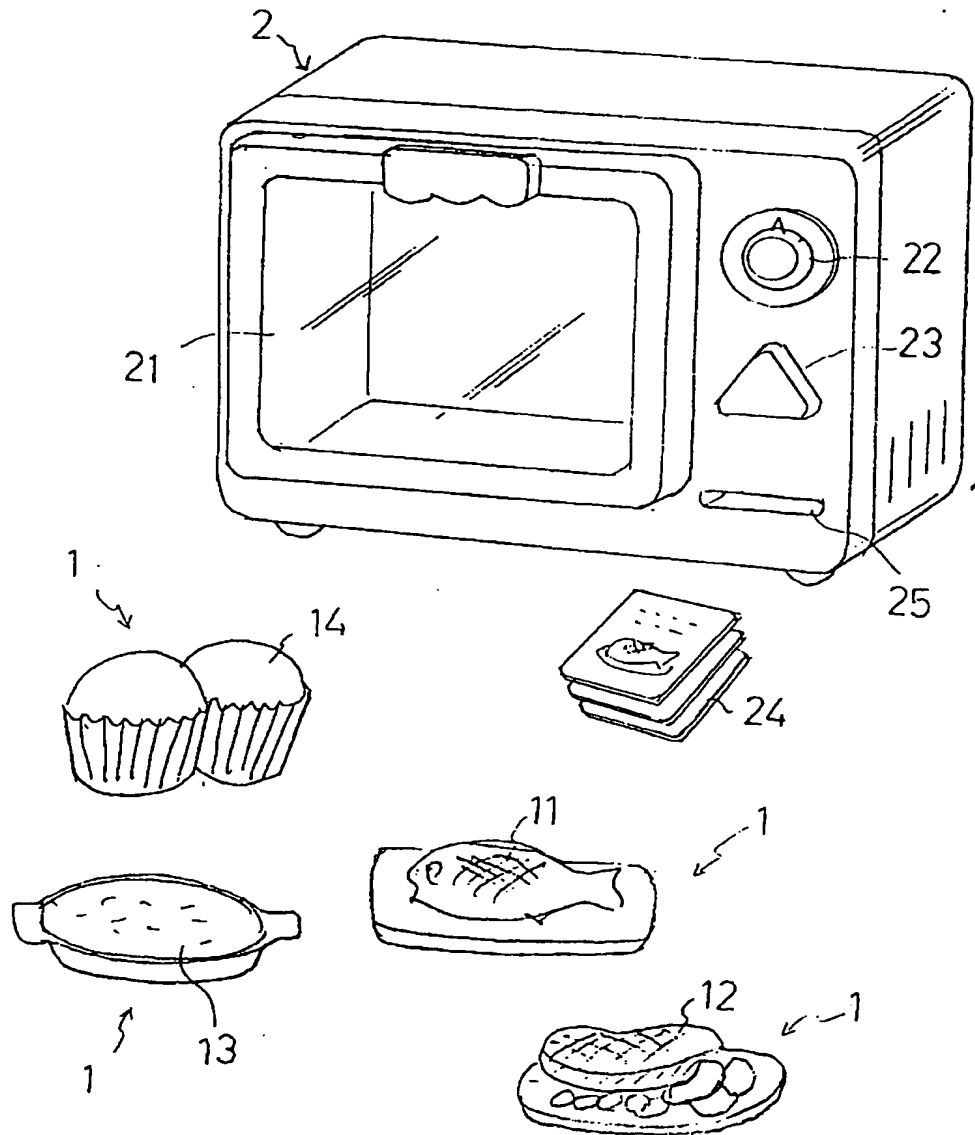
第1図は本考案の一実施例を示す色彩変化玩具の一実施例を示す斜視図、第2図は同じく色彩変

公開実用 昭和63-169199

化玩具を調理器玩具に入れた状態の斜視図である。

同図中、1は色彩変化玩具、2は調理器玩具、
11、12、13、14は玩具体、21は扉、22はタイマ、
23は調理スイッチである。

実用新案登録出願人 株式会社バンダイ

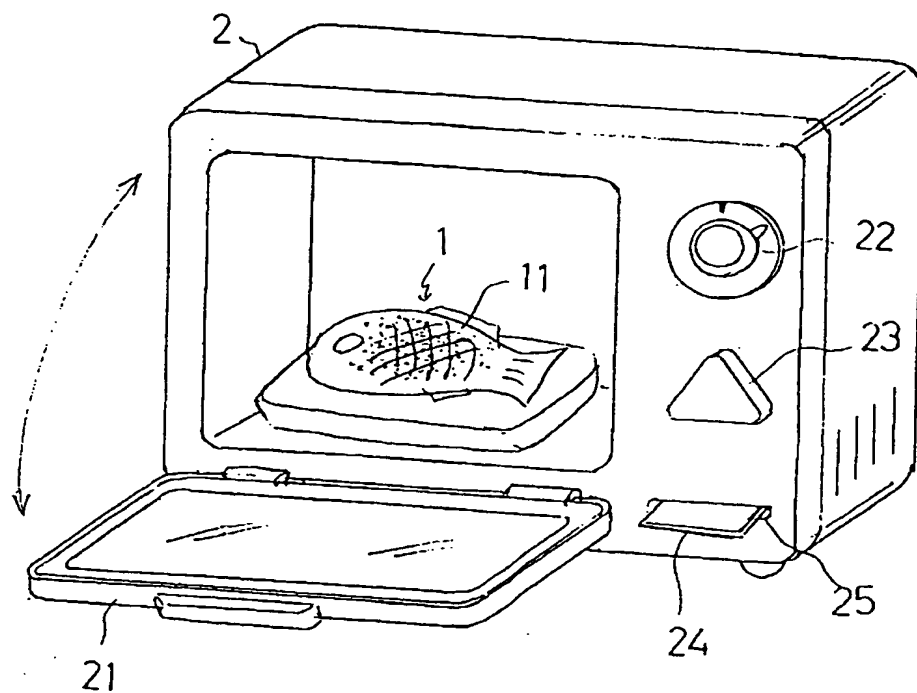


第 1 図

998 実開 63-169199

実用新案登録出願人 株式会社バンダイ

公開実用 昭和63- 169199



第 2 図

999

実用 63 - 169199

実用新案登録出願人 株式会社バンダイ